

ついに見つけた！ マンホール

切手研 50 周年展覧会で中川会員がマンホールの写真をリーフに展示したの見た時、絶対マンホールと風景印が同じ自治体がどこかにあるに違いないと考えた。当時はテレビでマンホールマニアとしてマンホールを拓本のように紙に写し取っている姿が紹介されていた。それから 10 年以上、今やマンホールは人気もの、カラーマンホールを中心にマンホールカードなるものを自治体下水道局が作り、マニアに配布するご時世になった。全国各地のマンホール情報がネットでみられるようになったので期待を込めて検索、なんと 3 件がヒットしてきた。ついでに種々マンホールをみて回ると切手と同じように変種が存在したりして興味深い。紙面に空気が生じそうなのでマンホールをいくつか、設置しました。

沖縄那覇市西方の慶良間諸島のほぼ西半分を占める 20 の島からなる座間味村のマンホールと風景印、座間味村ホエールウォッチング協会のこのロゴマークとも一致する。



ホエールウォッチング協会ロゴ
沖縄座間味郵便局の風景印

下田近く南伊豆町下賀茂のマンホールと風景印。今回、風景印と一致したマンホールで唯一マンホールカードが発行されている。カードには緯度 $34^{\circ} 39'$ 、経度 $138^{\circ} 51'$ とマンホールの位置、設置年 2007、河津桜、源泉井が描かれたことが記されている。

東経 135° 度日本標準時子午線の真上に建つ明石市立天文科学館をデザインした明石市のマンホールと明石子午線郵便局の風景印。明



石子午線郵便局も日本標準時子午線の真上に建ち、局内には子午線が床に白線で記されており、2 回発行された記念切手の初日印局となっている。



明石子午線郵便局の風景印



標準時制定記念切手



マンホールと風景印どちらが真似たか興味あるところだが、この 3 組からはマンホールのデザインを風景印に利用していると考えざるを得ない。

マンホールカードとは？
 普段は地中に埋まっていて見えない下水道ですが、地上に見えるマンホール蓋に着目し、全国各自治体で設置しているデザインマンホール蓋をコレクションカードにしたものです。カードを通して下水道を身近に感じてもらい、下水道のイメージアップや接続率向上を目的とした下水道広報ツールとしての一面に加え、各地で手渡して配布する仕組みにより、観光事業の促進という一面も持っています。